

=====

ESET Mobile Security V7.1 リリースノート (Build 7.1.13.0)

キャノンマーケティングジャパン株式会社

=====

■はじめに

キャノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
このリリースノートには、ESET Mobile Security（以後、本製品またはEMSと記載）  
を正しく利用頂くための情報が記載されています。  
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・インストールは、端末の [設定] ⇒ [セキュリティ] の「提供元不明のアプリ」を  
チェックしてから行います。(Android8.0/8.1/9.0/10/11/12を除く)
- ・Android 8.0/8.1/9.0/10/11/12 の場合は、プログラムをダウンロードした  
アプリケーション(Chromeを利用してダウンロードした場合はChrome)の許可が  
必要になります。

事前に許可がない場合、インストール開始時に設定を求められますので「この提供元のアプリを追加」をチェックしてインストールを続行します。

- ・画面ロックアプリなどの「他のアプリのUI：他のアプリの上に重ねて表示」権限を  
他のアプリケーションが使用していると、「インストール」ボタンが押せません。  
本製品をインストールする前には、このようなアプリの動作の停止、または「他の  
アプリのUI」権限を持つ機能を無効にしてください。

□旧製品 (EMS v1) をご利用の場合

- ・本製品は、EMS v1 からの上書きインストールには対応していません。  
本製品をインストールする前に、旧製品をアンインストールしてください。  
旧製品の設定を引き継ぐことはできません。

- ・旧製品にて、利用している端末の Gmail アドレスを使用して、ユーザ名/パスワードを取得していた場合は、本製品をインストールすると、自動的に既存のライセンス情報でアクティベーションされます。自動的にアクティベーションされない場合は、製品認証キーを使って、アクティベーションを手動で行ってください。

#### □旧製品（EMS v2.0～v6.3）をご利用の場合

- ・EMS v2.0～v6.3 をご使用の場合は、ダウンロードしたファイルを選択し、そのままインストールを行ってください。ライセンス情報や設定は、そのまま引き継がれます。ただし、EMS v3 以前からのバージョンアップに関して、バージョンアップ後のライセンス情報において「ライセンスは有効期限が過ぎています」とエラーが表示されるケースを確認しています。本現象を確認された場合は、お手数ですが再度ライセンスキーにてアクティベーションを実施してください。  
また、v5.4 から Anti-Theft の再設計による仕様変更のため、Anti-Theft が有効な場合、バージョンアップ後にアクセス権の設定や PIN コードの追加設定などが必要になります。EMS の画面上に表示される警告通知に従い、設定を行ってください。
- ・本バージョンの EMS v7.1 は、Android 5.0 以降のみ対応しております。  
Android 2.3 / 3.0 / 3.1 / 3.2 / 4.0 / 4.1 / 4.2 / 4.3 / 4.4 をご利用の場合、バージョンアップできません。

#### ■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

##### □インターネット接続環境について

本製品を使用するには、Android デバイスが直接インターネットに接続できる環境が必要です。

##### □デュアル SIM、ルート化デバイス、マルチユーザー環境下での動作について

デュアル SIM、ルート化デバイスおよびマルチユーザー環境下での本製品の動作についてはサポート対象外です。

□Anti-Theft と通話フィルター機能の動作条件について

Anti-Theft と通話フィルター機能は、通話やメッセージングをサポートしないタブレットでは使用できません。

□インストール後、ライセンス情報入力前に、「通信が失敗しました：無効なデータが入力されました。」と表示される。

本製品は、インストール後の初回起動の際、端末の Google アカウント情報を、EMS ライセンスサーバーに照会に行きます。この際、Google アカウントが登録されていないと、このエラーが発生します。「スキップ」を選択して、アクティベーションを行うか、端末の Google アカウントを正しく登録してください。

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

□Android 5.0 に対するワイプ機能の完了通知が行われぬ。

Android 5.0 に対してワイプ機能を実行した際、完了したことが通知されません。

□デバイス監査のアラート表示の問題

セキュリティ監査の[デバイス監査]-[メモリ]が有効に設定され、メモリ使用量が 90% を超えてもアラートが表示されません。

さらに、セキュリティ監査の[デバイス監査]-[データローミング]や[デバイス監査]-[通話ローミング]が有効に設定され、端末側のローミング設定が有効でもアラートが表示されません。

□[分析のためにサンプルを提出]にて通信に失敗する。

カスタマーサポートの[分析のためにサンプルを提出]において、ファイル送信を行うと通信に失敗します。

□ESET HOME から Anti-Theft を無効にできない。

ESET HOME の Anti-Theft において、[Anti-Theft をオフにする]を選択しても本製品の Anti-Theft が無効になりません。

#### ■Anti-Theft 機能の注意事項

- ・本製品の Anti-Theft には、ワイプ（データの削除）機能や、端末のロックおよび勝手に写真を撮影したりサイレンを鳴らしたりする機能があります。これらの機能を不用意に実行しますと、端末のデータを失ったり、操作ができなくなったり、周囲より有らぬ誤解を招く恐れがありますので、ご注意ください。
- ・Anti-Theft を有効にする際は、端末を外に持ち出す前に、実際の動作を確認して頂きますよう、強くお勧めします。

#### ■変更履歴

□EMS v2 からの変更点

- ・ウイルス対策
  - 「充電中に検査」に対応しました。充電中に満充電になると、検査が行われます。
  - ウイルス定義データベースの構造が見直され、1 回の更新時におけるデータのダウンロード量が減少しました。
  - 検出したマルウェアの詳細情報が見られるようになりました。
  - 定義ファイル更新サーバーに、テスト用の公開前サーバーを指定できるようになりました。
- ・盗難対策（現在の機能名：Anti-Theft）
  - ポータルサイトの my.eset.com 経由でアンチセフト（現在の機能名：Anti-Theft）機能を実行できるようになりました。  
ワイプ（データ削除）、位置検出、IP アドレス取得、サイレン（警報音）、写真撮影、メッセージ（端末画面にメッセージを表示）、パスワードリセットが利用できます。
  - my.eset.com 経由のアンチセフト（現在の機能名：Anti-Theft）は、SMS が利用できない端末でも利用可能です。
  - 画面ロック解除を複数回失敗する等の不審な動作を検出し、前もって端末をロックすることが可能になりました。
- ・その他
  - Android 5.0 に対応しました。

□EMS v3 (Build 3.0.1272) からの変更点

- ・ Y!mobile/Softbank 回線での定義ファイル更新
  - Y!mobile/Softbank のモバイルネットワーク経由で、ウイルス定義ファイルの更新ができない問題を修正しました。
- ・ Android 5.1 に対応しました。

□EMS v3.2 (Build 3.2.4.0) からの変更点

- ・ Android 6.0 に対応しました。

□EMS v3.2 (Build 3.2.46.0) からの変更点

- ・ Android 6.0 で盗難対策（現在の機能名：Anti-Theft）のワイプが正常に実行できない問題を修正しました。

□EMS v3.3 (Build 3.3.27.0)からの変更点

- ・ Android 7.0 に対応しました。
- ・ アクティベーションするためのキーがユーザ名とパスワードから製品認証キーに変更されました。

□EMS v3.6 (Build 3.6.47.0)からの変更点

- ・ フィッシング対策機能が標準ブラウザ以外の多くのブラウザに対応しました。
- ・ セキュリティレポート機能が追加されました。
- ・ Android 8.0 に対応しました。

□EMS v3.9(Build 3.9.28.0)からの変更点

- ・ EMS の様々なログを表示するアクティビティログが追加されました。
- ・ Android OS がルート化された場合、セキュリティ監査機能でそれを警告できるようになりました。
- ・ 検出エンジンの自動的な更新間隔が3時間固定になりました。
- ・ Android 8.1 に対応しました。

□EMS v4.1(Build 4.1.20.0)からの変更点

- ・アプリケーションの起動時に、認証を設ける「アプリのロック」機能が搭載されました。
- ・GDPR (General Data Protection Regulation) に対応しました。
- ・アクティビティログが手動で削除可能になりました。

□EMS v4.1(Build 4.1.35.0)からの変更点

- ・「アプリのロック」の機能が改善されました。
- ・Android 9.0 に対応しました。

□EMS v4.3(Build 4.3.15.0)からの変更点

- ・設定のバックアップ、リストア機能が搭載されました。

□EMS v5.2(Build 5.2.45.0)からの変更点

- ・ホームネットワーク保護機能が搭載されました。
- ・「盗難対策」の名称が「Anti-Theft」に変更されました。
- ・Android 10 に対応しました。(2020年1月20日に追加)
- ・Android 10 端末上では、SIM ガード機能がご利用いただけません。(2020年1月20日に追加)

□EMS v5.4(Build 5.4.8.0)からの変更点

- ・Anti-Theft の再設計により仕様の一部が変更されました。

□EMS v6.0(Build 6.0.29.0)からの変更点

- ・決済保護機能が搭載されました。

□EMS v6.1(Build 6.1.14.0)からの変更点

- ・Android 11 に対応しました。
- ・スーターウェア保護通知が追加されました。

#### □EMS v6.2(Build 6.2.21.0)からの変更点

- ・フィッシング対策で「望ましくない可能性があるアプリケーションの検出」が可能になりました。

#### □EMS v6.3(Build 6.3.67.0)からの変更点

- ・ Adware Detector が追加されました。
- ・ myESET への接続が可能になりました。製品版の製品認証キーでアクティベーションされていない状態で myESET へ接続をすると、myESET に登録されている製品認証キーを選択し、アクティベーションが可能になりました。
- ・ MyESET のアカウント作成時に、パスワードの最小文字数が 8 文字から 10 文字に変更になりました。
- ・ バッテリーが意図せず大量消費される問題を修正しました。
- ・ ESET のアイコンが変更になりました。

#### □EMS v7.1(Build 7.1.13.0)からの変更点

- ・ Android 12 に対応しました。
- ・ 「myESET」の名称が「ESET HOME」に、「ホームネットワーク保護」の名称が「ネットワーク検査」に、それぞれ変更されました。
- ・ Android ホーム画面上のアイコン名が「Mobile Security」から「ESET Security」に変更されました。
- ・ ESET HOME への接続方法として、Google アカウント、Apple ID、ESET HOME アプリからの QR コード読み取りがそれぞれ追加されました。
- ・ 「充電中に検査」の設定がデフォルトで OFF から ON に変更されました。
- ・ アクティビティログのフィルターに「アプリのロック」が追加されました。

#### ■製品情報

本製品に関する Q&A は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>